

エコアクション 21

環境経営レポート

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）



 株式会社 極東製作所

作成日：令和5年6月15日

1. 組織の概要

① 事業所名及び代表者氏名

株式会社 極東製作所
代表取締役社長 椀山秀樹

② 所在地

〒800-0115
北九州市門司区新門司3丁目42番地

③ 環境管理責任者氏名及び担当者氏名連絡先

環境管理責任者 山口仁人 (製造部製造課長)
担当者 事務局 立石剛敦
TEL: 093-481-2838
FAX: 093-481-1952
E-mail: product@kyokutov.ecnet.jp
URL: <http://www.kyokutov@ecnet.jp>

④ 事業活動内容

バルブの設計・製作及びメンテナンス

⑤ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

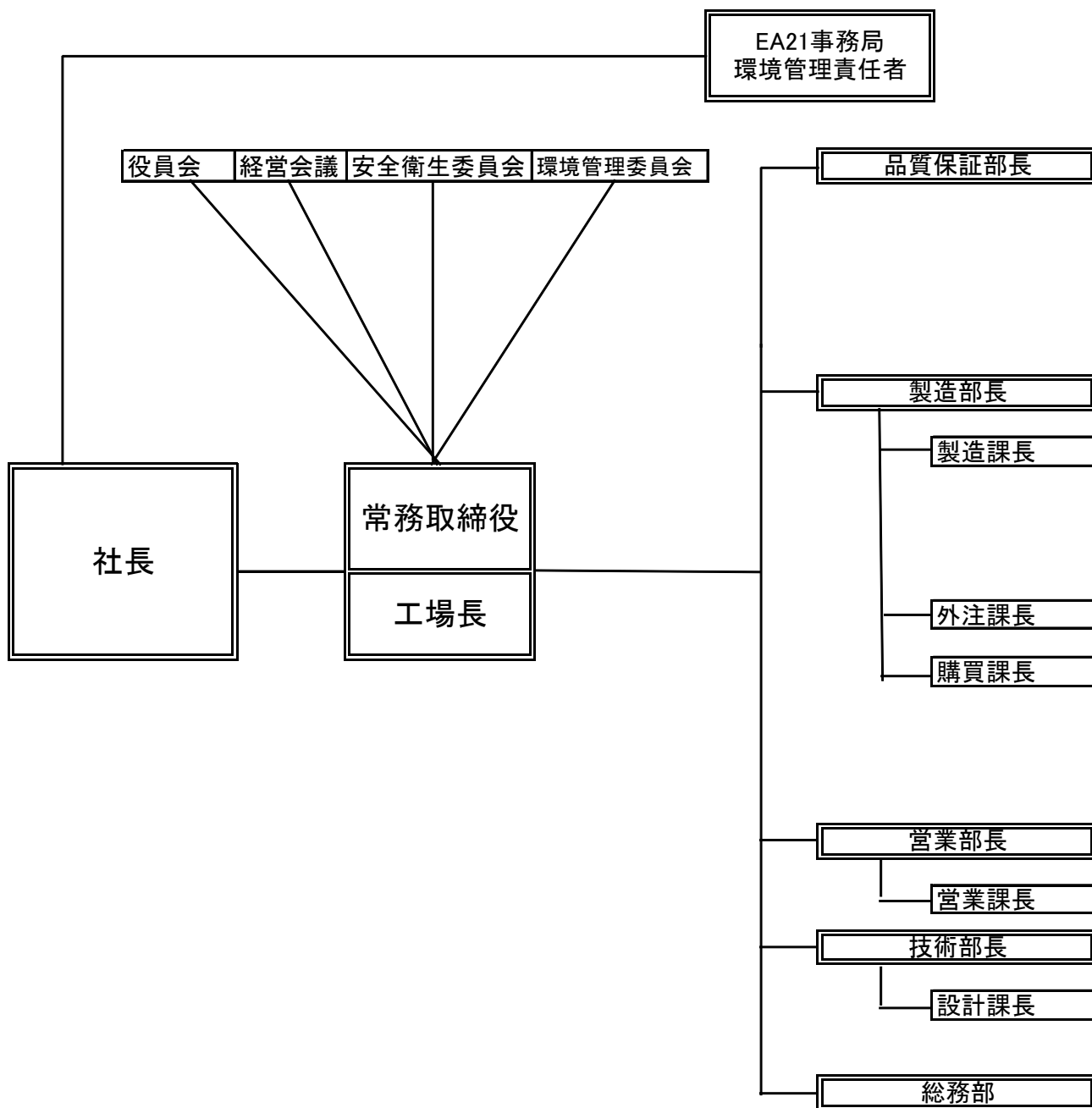
⑥ 事業規模

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	千万円	75.9	103.9	121.4
従業員数	人	58	54	55
床面積	m ²	2406	2406	2406

⑦ 認証・登録範囲

全組織・全活動・全従業員

⑧ 実施体制



2. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

株式会社極東製作所は、オーダーメイドのバルブ専門メーカーとして、国内外の産業発展に寄与しています。地球的規模での自然環境の保全に当社の企業活動のあらゆる方向で貢献します。

行動指針

1. エネルギー消費の削減、特に電力使用量の削減を図り、地球温暖化防止に努めます。
2. 資源である水の有効利用を推進するため、節水に努め、水使用量の削減に努めます。
3. 省エネ、小形軽量化、部品点数の削減等環境に配慮した製品開発を推進します。
4. 産業廃棄物の適正処理及び排出削減に努め、再資源化を推進し、資源の有効活用に努めます。
5. 積極的にグリーン購入に努めます。
6. 国、地方自治体などの環境に関連する法規制及び当社が同意したその他の要求事項を順守することはもとより自主管理基準を設定して、継続的に汚染の防止に努めます。
7. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

—この環境方針は、積極的に開示します—

平成31年4月1日 改訂

株式会社極東製作所

代表取締役社長

椋山 秀樹

3. 環境目標とその実績

3. 1 令和4年度目標達成状況

前年度を基準年度とし、令和4年度の実績は以下の通りである。

環境目標		実績	単位	3年度(66期)	4年度(67期)
				3/4~4/3	4/4~5/3
①	二酸化炭素排出量の削減	実績	kg-CO2	84,534.02	93,020.57
②	水の総排出量の削減	実績	m ³	741.0	788.0
③	廃棄物排出量の削減	実績	t	51.8	124.10
④	紙の使用量の削減	実績	t	1.68	1.58
⑤	グリーン購入	実績	件数	随時	随時

環境目標		単位	4年度(67期)	5年度(68期)	6年度(69期)
①	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	前年の1%削減	前年の1%削減	前年の1%削減
			83,688.68	92,090.36	-
②	水の総排出量の削減	m ³	前年の1%削減	前年の1%削減	前年の1%削減
			733.6	780.1	-
③	廃棄物排出量の削減	t	前年の1%削減	前年の1%削減	前年の1%削減
			51.28	122.86	-
④	紙の使用量の削減	t	前年の1%削減	前年の1%削減	前年の1%削減
			1.66	1.56	-
⑤	グリーン購入	件数	随時	随時	随時

備考：※CO2 排出係数(九州電力)平成 30 年度 0.347 (調整後排出係数使用)

4. 主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量削減のための取組

(1) 電気使用量の削減

- ①エアコン設定温度冬季23℃以下、夏季26℃以上の実行
- ②電灯のこまめな消灯
- ③休憩時間及び作業終了後のコンプレッサの電源切

(2) 灯油使用量の削減

- ①温度15℃以上はストーブを消す

(3) ガソリン／軽油燃料使用量の削減

- ①輸送の合理化・輸送方法の検討

2. 水の総排出量の削減

(1) 試験水の削減

- ①油水分離装置の状況確認及び油の除去
- ②組立不良率削減

3. 廃棄物排出量の削減

加工しろの削減及び不良品の削減

- ①材料の切断不良の撲滅
- ②部品減肉、部品点数削減
- ③組立時における不良の削減（5件 / 年以下）
- ④加工時における不良の削減（30件 / 年以下）
- ⑤設計ミスによる設計変更の発行件数の削減

4. 紙の使用量の削減

(1) コピー使用量の削減

- ①コピー用紙の再利用及び削減
- ②提出資料の電子化（PDF化等）の促進

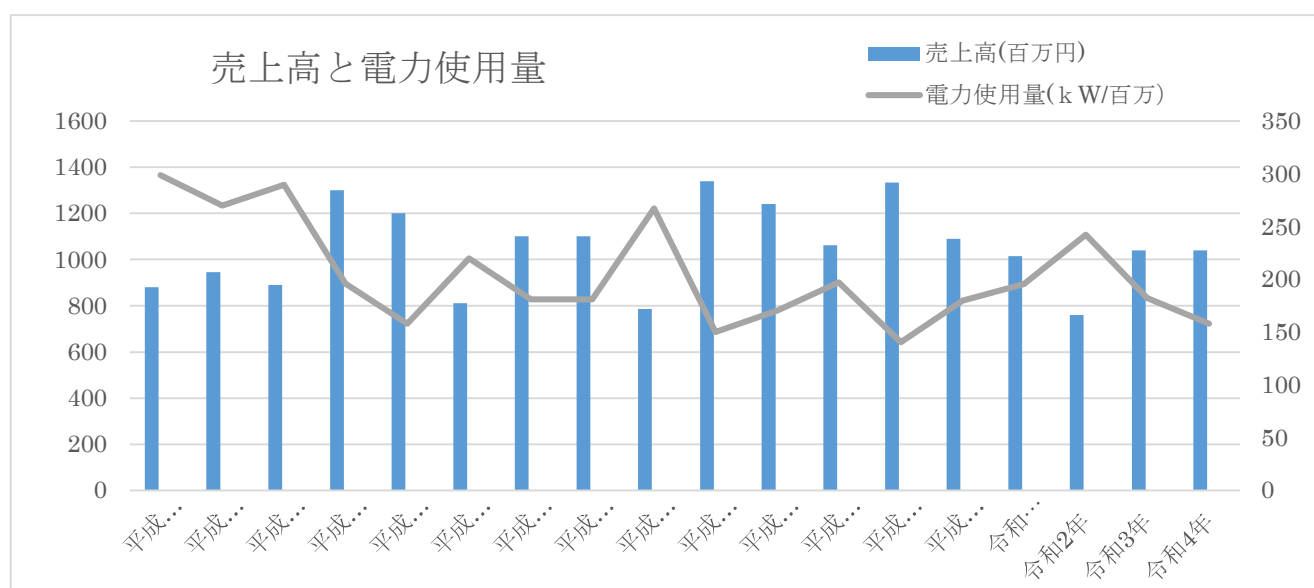
5. グリーン購入

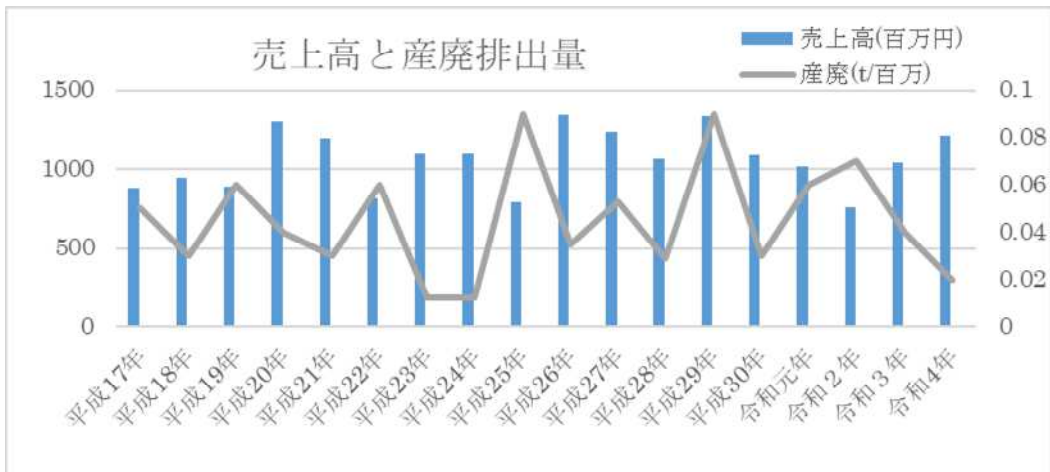
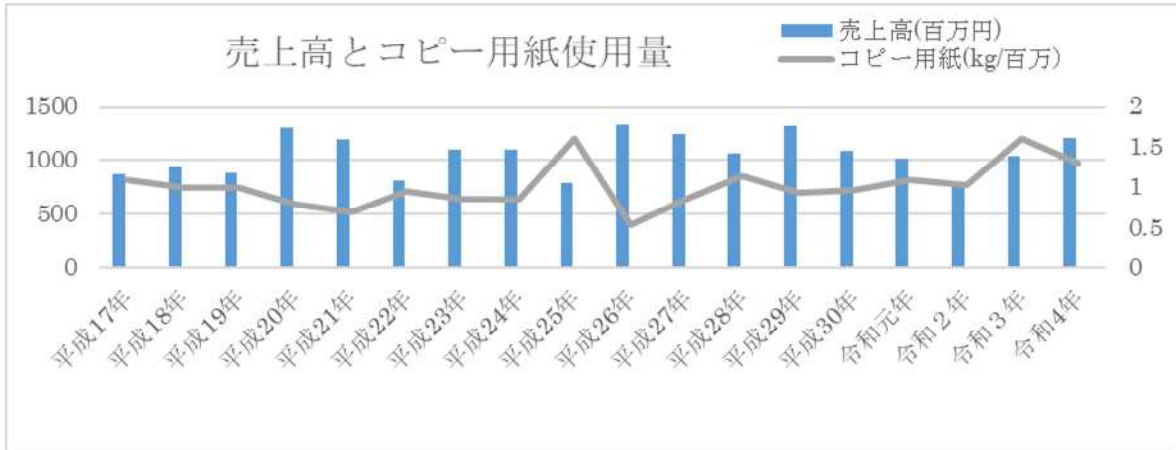
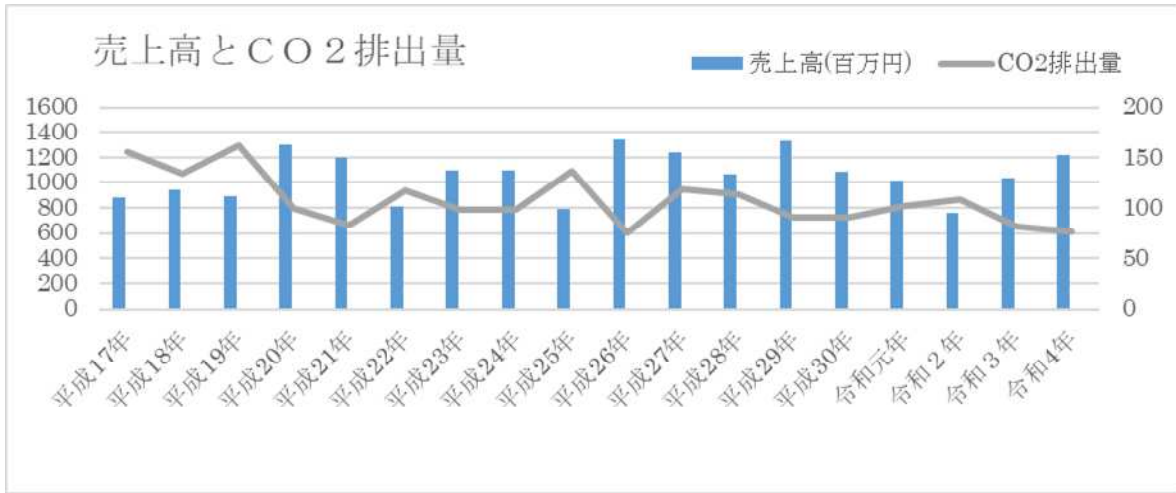
- ①文房具購入時グリーンマーク付購入を行う。

※ 今年度計画については、前年度より引き続きとする。

5. 平成17年～令和4年度売上と各使用量

	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
売上高(百万円)	879.4	944.4	890	1300	1200	810	1100	1100	786	1339	1240	1062	1333	1089	1015	759	1039	1214
電力使用量(k W/百万)	298.7	269.9	289.7	195.9	158	220	181	181	267.2	150.1	170.6	197.2	140.4	179.8	195.5	242.5	1823	158.0
灯油(L/百万)	9.7	6.5	6.8	5.2	4.2	7	5.6	5.6	6.3	3.8	4.1	2.8	4.4	2.7	4.1	4.3	2.6	3.46
LPG(kg/百万)	0.38	0.19	0.19	0.1	0.21	0.32	0.23	0.23	0.13	0.06	0.07	0.07	0.06	0.23	0.08	0.1	0.06	0.11
ガソリン(L/百 万)	2.8	2.8	1.7	1.5	1.77	2.72	2.13	2.13	2.64	1.34	1.04	2.95	2.1	3.97	2.46	2.18	2.01	2.4
軽油(L/百万)	4.3	3.2	3.8	3.1	2.9	3.6	3.88	3.88	5.58	2.61	2.34	3.28	3.77	2.01	5.34	3.28	2.61	2.85
水(m ³ /百万)	1.2	1	1.2	0.8	1.07	1.49	1.05	1.05	1.35	0.69	0.7	0.73	0.61	1.27	0.83	1.08	0.71	0.65
コピー用紙 (kg/百万)	1.1	1	1	0.8	0.7	0.95	0.85	0.85	1.61	0.53	0.86	1.15	0.94	0.97	1.1	1.03	1.61	1.3
産廃(t/百万) 金属くず	0.05	0.03	0.06	0.04	0.03	0.06	0.012	0.012	0.09	0.035	0.053	0.029	0.09	0.03	0.06	0.07	0.04	0.03
CO2 排出量 (kg-CO2/百万)	156.1	134.3	162	99	82.7	117.5	98.4	98.4	136.9	75.7	118.7	113.5	90.8	90.6	101.8	108.6	81.36	76.62





6. 環境活動の取組結果の評価

	目標	単位	4年度 目標	4年度 実績	削減率
①	二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	83,688.68	93,620.57	11.9%増加
	電気使用量の 削減	kWh	187,490.16	191,829	2.3%増加
	灯油使用量の 削減	L	2,691	4,168	54.9%増加
	ガソリン・軽油 使用量の削減	L	4,755.14	6,377.46	34.1%増加
②	水の総排出量の 削減	m ³	733.6	788.0	7.4%増加
③	廃棄物排出量の 削減	t	51.28	124.1	142%増加
④	紙の使用量の削減	kg	1,659.04	1,581.3	4.6%減少
⑤	グリーン購入	件数	随時	随時	随時

評価

6.1 二酸化炭素排出量の削減

売上は1214百万と昨年度比で約17%増加したが、電気使用量の増加は2.3%である。残業時間が削減されているためであろう。二酸化炭素排出量は11.9%増加である。灯油使用量は54.9%増加し、自動車燃料は34.1%増加している。仕事量が増えて外注への払出／引取が増加し、自動車の稼働が増えている。化石燃料の使用量の増加が二酸化炭素排出量の増加につながっているようである。

6.2 水の総排出量の削減

水の使用量は売り上げが増加した割には微増である。

6.3 廃棄物排出量の削減

木くずが昨年の約2倍に増加している。

6.4 紙の使用量の削減

紙の使用量は提出資料の電子化（PDF）等の影響で減少している。

6.5 グリーン購入

常時購入の文房具については積極的にグリーンマークのついたものを引き続き購入します。

※ その他・・・環境に配慮した製品づくりを日々心がけて活動しています。

7. 次年度取組内容

7-1.二酸化炭素排出量の削減

電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度
- ② 電灯のこまめな消灯
- ③ コンプレッサ電源切り
- ④ 作業の効率化／働き方改革による残業抑制

灯油使用量の削減

ストーブ着火温度の管理

ガソリン／軽油燃料代の削減

輸送の合理化・輸送方法の検討

7-2.総排水量の削減

排水処理の改善

- ① 油水分離装置の状況確認
- ② 組立不良率削減

7-3.廃棄物排出量の削減

- ① 材料の切断不良の撲滅
- ② 部品減肉、点数削減他技術的改善
- ③ 組立時不良削減
- ④ 加工時不良削減
- ⑤ 設計ミスによる設計変更発行件数の削減

7-4.紙の使用量の削減

コピー用紙の再利用及び削減

提出資料の電子化（PDF化）の推進

7-5.グリーン購入

消耗品購入時のグリーン購入促進

8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等（廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法等）の遵守状況を確認した結果、過去3年間違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟等はありませんでした。

9. 代表者による評価と見直し・指示

工場の残業時間が減少しており、昨年比で売上げが約17%増加したが電気使用量は2.3%の微増である。二酸化炭素排出量の約71%を占めており、引き続き電気使用量の削減策を検討したい。自動車燃料の使用量はガソリン、軽油共に増加した。灯油も増加している。電気使用量の増加につながる残業時間の抑制は引き続き指示した。

10. その他

平成21年2月設置 太陽光発電

